

2017年5月19日

オスプレイ飛行訓練中止等を求める申入書

釧路市長

蝦名 大也殿

日本共産党釧路地区委員会

委員長 村上和繁

釧路市議会議員団

団長 松永俊雄

8月に矢臼別演習場で実施予定の日米共同訓練に、垂直離着陸機MV2 オスプレイが初めて参加するとつたえられています。

オスプレイは、開発担当者さえその欠陥や危険性を指摘している技術的に未完成のまま実用化された垂直離着陸輸送機です。その結果、たびたび墜落事故を起こし、事故原因も十分解明されていない欠陥機でもあります。そのことから「未亡人製造機」などの別名もあり、昨年12月には沖縄で空中給油中に給油ホースとプロペラの接触が原因と見られる「墜落事故」を起こしたばかりです。しかも、この墜落事故を米軍当局と日本政府が「不時着」と強弁し、直後に訓練を再開するなど国民の不安を無視したやり方に、不信感が高まる一方です。

このオスプレイが矢臼別演習場に飛来し、場合によっては陸上自衛隊駐屯地がある釧路町と隣接する釧路市の上空を飛行することも否定できない事態も予想されます。爆音や、低周波、排気熱など思わぬ被害もないとは言い切れません。市民はこのような危険なオスプレイの訓練を決して歓迎しません。

よって、市民の不安解消のため次の2点について強く要請いたします。

記

- (1) 矢臼別演習場での日米共同訓練とオスプレイ飛来について関係当局に事実を確認し、市民に知らせること。
- (2) 釧路市に何ら説明もないままオスプレイが上空を飛行するなど許されません。国や道に対し、訓練は実施しないよう中止を求めること。

以上